

JAOS LED FOG LAMP SET Installation Instructions

このたびはJAOS LEDフォグランプセットをお買い上げいただきありがとうございます。
本書はJAOS LEDフォグランプセットを取り付ける場合の要領と取り扱いについて記載しています。
取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

< 作業後は本書を製品の使用者様にお渡ししていただき、使用者様は本書を大切に保管してください。 >

取付参考時間
INSTALLATION TIME



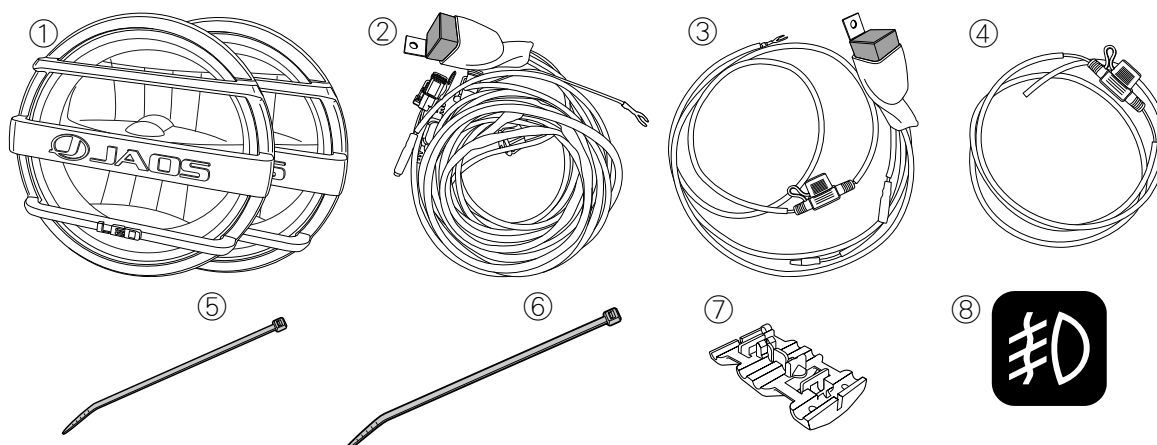
約1.5時間
1.5-hours

作業難度
SKILL LEVEL

- | | |
|------------|----------------------|
| ① パーツ交換/取付 | Easy |
| ② 車体加工あり | Moderately Easy |
| ③ 専門知識が必要 | Moderately Difficult |
| ④ 分解整備 | Difficult |

必要工具
TOOL

レンチ(hex.13,10)
プライヤー
ホルソー(20mm)
絶縁テープ
簡易テスター
カッター、ハサミ

部品構成

構成部品名称 DESCRIPTION	数量 Q'TY	構成部品名称 DESCRIPTION	数量 Q'TY
① LEDフォグランプ本体 LED FOG LAMP	2	⑤ 結束バンドA CABLE TIES A	4
② メインハーネス MAIN WIRE HARNESS	1	⑥ 結束バンドB CABLE TIES B	6
③ 制御用ハーネス ※ WIRE HARNESS for CONTROL	1	⑦ エレクトロタップ ELECTRO TAP	2
④ サブハーネス SUB WIRE HARNESS	1	⑧ フォグランプステッカー FOG LAMP STICKER	1

※純正フォグ付車用

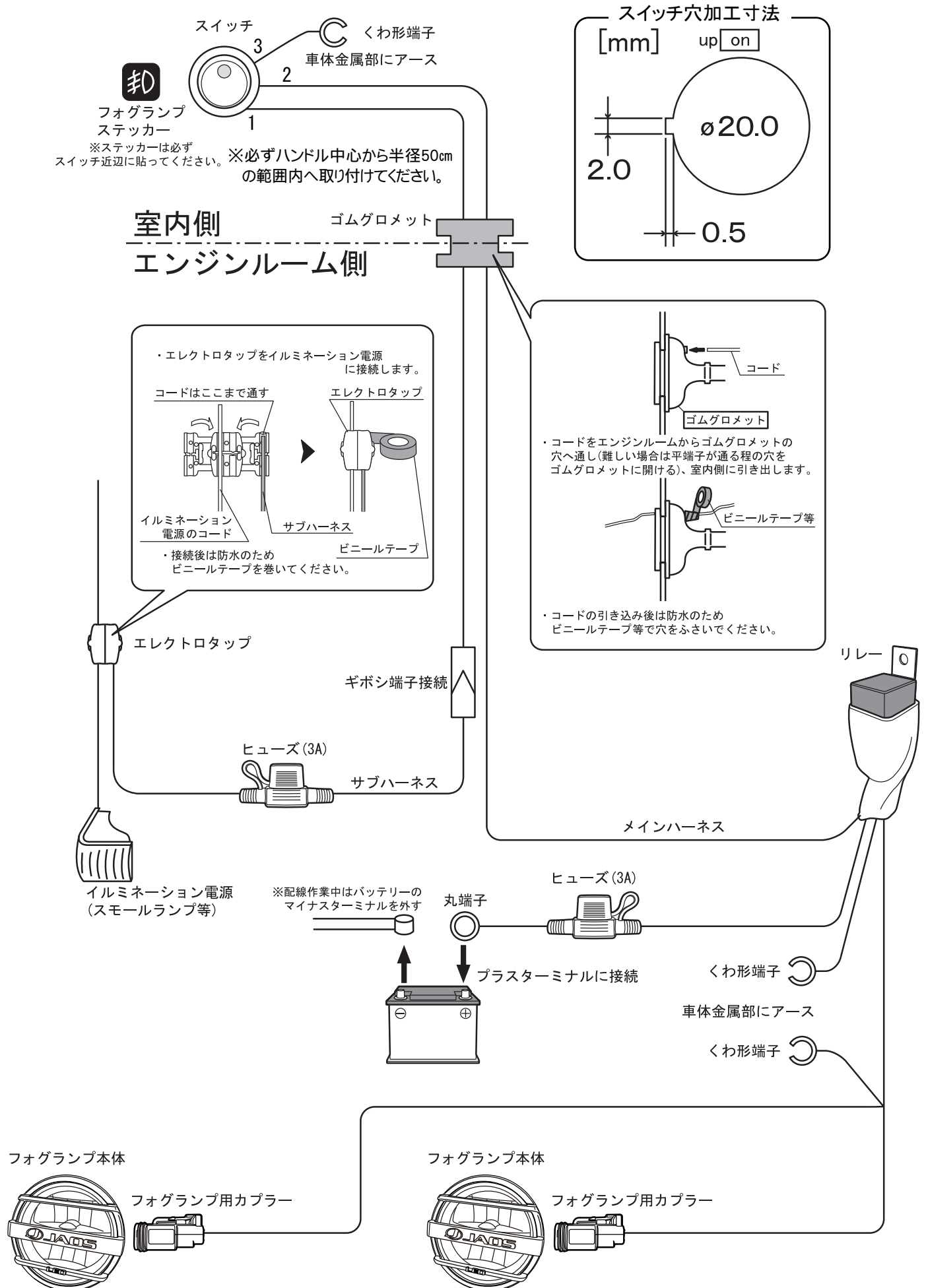
配線時の注意**警告**

- ・車を障害物のない平らな場所に停車し、エンジンを止め、パーキングブレーキを確実にかけてください。
- ・作業は必ずバッテリーのマイナスターミナルを外してから行ってください。
- ・ハーネスやコードは、可動部でこすられたり、はさまれたり、押し付けられたりしないようにしてください。
- ※ペダル/ワイヤードア/ベルト/ブーリーなどを避けて配線してください。

**注意**

- ・リレー、ハーネスはエンジン/過給機/排気管などの高温部から離して取付けしてください。
- ・リレーはコードが下向きになるよう取付けしてください。
- ・コネクターや端子は確実に接続してください。
- ・ハーネスやコネクターは強く引っ張らないでください。
- ・ハーネスやコードはぶらつかない様に結束バンドやクリップテープで固定してください。
- ・ボルト、ナットは確実に締付けてください。
- ・スイッチやスイッチコードは運転の妨げにならないように取付けてください。

配線図(純正フォグランプ無し車の場合)



配索手順(純正フォグランプ無し車の場合)

1. バッテリーのマイナスターミナルを外します。
2. メインハーネス②のスイッチを一旦取り外し、取り付ける位置や寸法を確認し、必要であれば穴あけ加工をし取り付けます。



注意 スwitchの取り付け位置は法令で定められています。

取付位置はハンドルの中心から半径50cm以内でシートへ着座し、シートベルトを装着した状態に於いてスイッチのインジケーターが見え、操作が容易に行える箇所へ取り付けてください。



アドバイス 穴の突起部の加工はリユーターなどを使うと簡単に行えます。

3. メインハーネス②の平端子が付いた白コードをエンジンルーム側から車両既設のゴムグロメットの穴に通し(既設の穴を通すのが難しい場合はゴムグロメットへ平端子が通る程の切込みを入れ通す)、室内に引き込みます。



アドバイス ゴムグロメットから水が室内へ入らないよう、ビニールテープ等で穴をふさいでください。



アドバイス 後項5で行うサブハーネス④によるイルミネーション電源の取り込みをスモールランプ等のエンジンルーム側にある供給電源から行う場合は、サブハーネス④の配線も同時にゴムグロメットの穴へ通します。



注意 ハーネスやコネクターを強く引っ張らないでください。

4. 室内でメインハーネス②とスイッチの端子2を接続します。



注意 スwitchへ接続する端子の端子番号は必ず合わせてください。(端子番号はスswitch裏面に表記)

5. スwitchの端子1とサブハーネス④を接続し、エレクトロタップ⑦を使用してイルミネーション電源へ接続します。
6. スwitchの端子3と取り外したクワ形端子が付いた黒コードを接続します。
7. メインハーネス②のクワ形端子が付いた黒コード(3か所)を車体金属部(アースがとれる部分)に取り付けます。



注意 アースを取る部分に塗膜がある場合は削り落としてから取り付けます。

8. メインハーネス②の2極コネクター2本を各ランプ本体①へ接続します。
9. メインハーネス②の丸端子が付いた赤コードをバッテリーのプラスターミナルへ取り付けます。
10. リレーをコードが下向きになるよう取り付けます。
11. 各ハーネスの導線の取り回しや安全を確認し、余ったハーネスを付属の結束バンドで固定します。
ハーネスやコードが揺れる恐れのあるところは、U字型クリップ、クリップテープ、結束バンドを使用して固定します。
12. バッテリーのマイナスターミナルをバッテリーへ接続します。

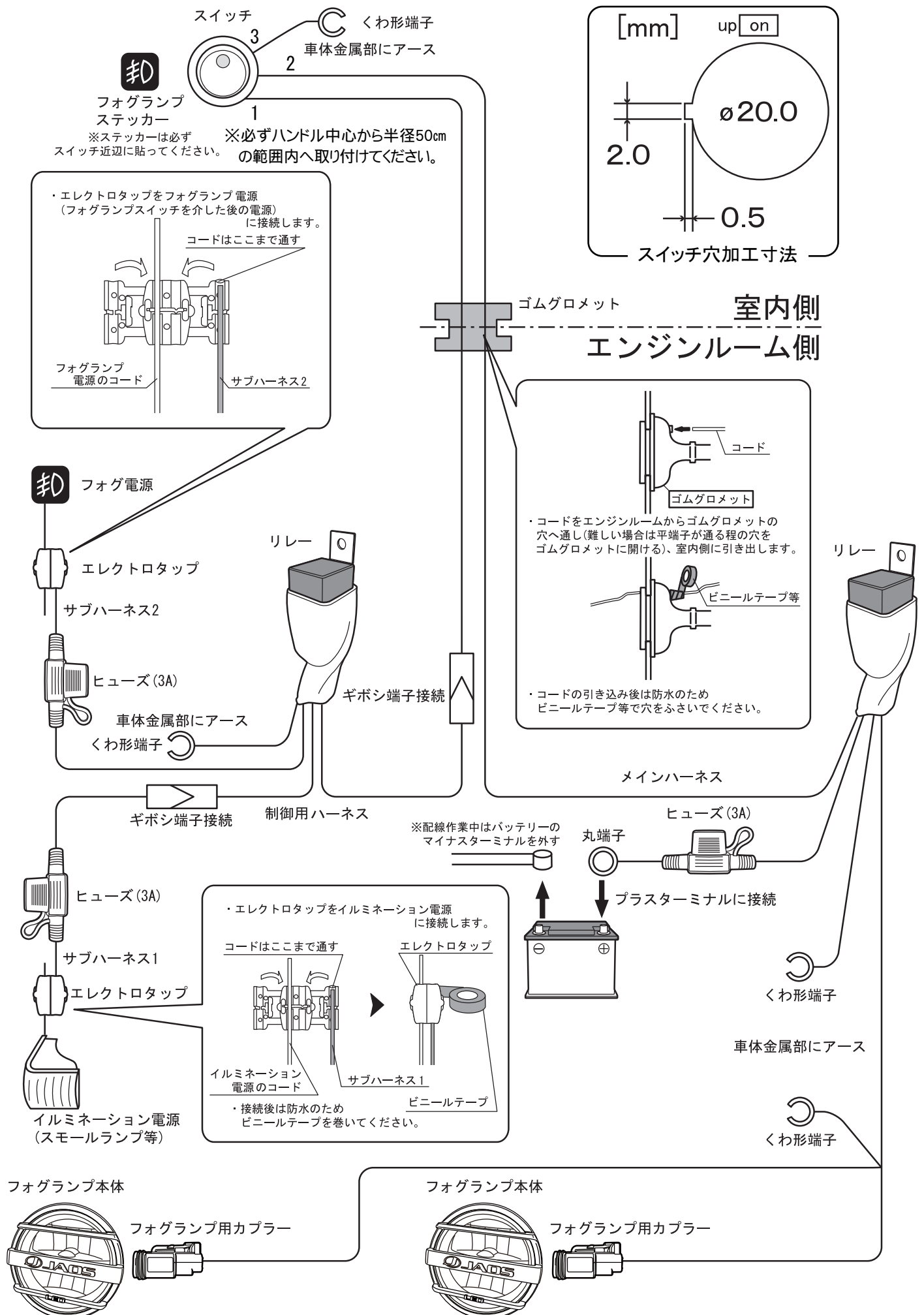


警告 ハーネスやコードは、可動部でこすられたり、はさまれたり、押し付けられたりしないようにしてください。
※ペダル/ワイヤー/ドア/ベルト/プーリーなどを避けて配線してください。



注意 エンジン、過給機(ターボ、スーパーチャージャー)、排気管など高温部から必ず離し取付けてください。
コード側が下向きになるように取付けてください。

配線図(純正フォグランプ付き車の場合)



配索手順(純正フォグランプ付き車の場合)

1. バッテリーのマイナスターミナルを外します。

2. メインハーネス②のスイッチを一旦取り外し、取り付ける位置や寸法を確認し、必要であれば穴あけ加工をし取り付けます。



注意 スwitchの取り付け位置は法令で定められています。

取付位置はハンドルの中心から半径50cm以内でシートへ着座し、シートベルトを装着した状態に於いてスイッチのインジケーターが見え、操作が容易に行える箇所へ取り付けてください。



アドバイス 穴の突起部の加工はリューターなどを使うと簡単に行えます。

3. メインハーネス②の平端子が付いた白コードをエンジンルーム側から車両既設のゴムグロメットの穴に通し(既設の穴を通すのが難しい場合はゴムグロメットへ平端子が通る程の切込みを入れ通す)、室内に引き込みます。



アドバイス ゴムグロメットから水が室内へ入らないよう、ビニールテープ等で穴をふさいでください。



アドバイス 後項5で行う制御用ハーネス③による制御電源の取り込みをエンジンルーム側にある供給電源から行う場合は、制御用ハーネス③の配線も同時にゴムグロメットの穴へ通します。



注意 ハーネスやコネクターを強く引っ張らないでください。

4. 室内でメインハーネス②とスイッチの端子2を接続します。



注意 スwitchへ接続する端子の端子番号は必ず合わせてください。(端子番号はスswitch裏面に表記)

5. スwitchの端子1と取り外したギボシ端子が付いた白コードを制御用ハーネス③と接続します。

6. 制御用ハーネス③の赤コードをエレクトロタップ⑦を使用してフォグランプ電源(フォグランプスswitchを介した後の電源)へ接続します。

7. 制御用ハーネス③のギボシ端子が付いた白コードとサブハーネス④を接続し、エレクトロタップ⑦を使用してイルミネーション電源へ接続します。

8. スwitchの端子3と取り外したクワ形端子が付いた黒コードを接続します。

9. メインハーネス②と制御用ハーネス③のクワ形端子が付いた黒コード(計4か所)を車体金属部(アースがとれる部分)に取り付けます。



注意 アースを取る部分に塗膜がある場合は削り落としてから取り付けます。

10. メインハーネス②の2極コネクター2本を各ランプ本体①へ接続します。

11. メインハーネス②の丸端子が付いた赤コードをバッテリーのプラスターミナルへ取り付けます。

12. 各リレーをコードが下向きになるよう取り付けます。

13. 各ハーネスの導線の取り回しや安全を確認し、余ったハーネスを付属の結束バンドで固定します。
ハーネスやコードが揺れる恐れのあるところは、U字型クランプ、クランプテープ、結束バンドを使用して固定します。

14. バッテリーのマイナスターミナルをバッテリーへ接続します。



警告 ハーネスやコードは、可動部でこすられたり、はさまれたり、押し付けられたりしないようにしてください。

※ペダル/ワイヤー/ドア/ベルト/プーリーなどを避けて配線してください。



注意 エンジン、過給機(ターボ、スーパーチャージャー)、排気管など高温部から必ず離し取付けてください。
コード側が下向きになるように取付けてください。

ランプ本体の取付け、配線終了後の点検

1. 作業終了後、正しく接続されていることを確認してください。
2. フォグランプステッカー⑧をスイッチ周辺に貼り付けます。

⚠ 注意 必ずステッカーを貼り付けてください。車検に通りません。

3. ランプの点灯を確認します。
4. 光軸の調整をします。
5. スモールランプ、ヘッドランプ、ウインカーなどの電装品が正常に作動することを確認します。

ランプの点灯

⚠ 警告 ・走行中、消灯直後はレンズ、ランプにさわらないでください。特にお子さまにはご注意ください。
※高温になっているため、ヤケドの恐れがあります。

- ・点灯しているランプを長時間見つめないでください。視力障害を起こす恐れがあります。
- ・ランプ、ハーネスなどに異常がある場合は、ただちに使用を止め、購入された販売店にご相談ください。

⚠ 注意 ・停車中、アイドリング中の長時間の点灯はお止めください。また、エンジン停止中は、ランプを消灯してください。バッテリー消耗の原因になります。

- ・点灯中、消灯直後に水をかけないでください。レンズが割れることがあり、大変危険です。

光軸の調整

1. タイヤの空気圧を規定値に調整します。
2. 運転席に1名乗車します。
3. ランプを点灯します。
4. ランプの主光軸が前方約30～40mを照射するように光軸調整する。

⚠ 注意 光軸調整は、必ず1名乗車して行ってください。

